

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

3740 (017-016)

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質： フェノール
方 式： 流水式
供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
試験濃度： 対照区, 15 ppm, 20 ppm, 25 ppm, 33 ppm, 43 ppm
暴露期間： 96時間
試験液量： 5 L
生物数： 10尾/濃度区
照 明： 16時間明/8時間暗
エアレーション： 無し
温 度： 23.8~24.6℃

結 果

試験の結果、フェノールの設定濃度に基づく96時間の半数致死濃度 (LC50) は 25.1 ppmであり、その95%信頼区間は 21.8~28.9 ppmであった。